

“キャリアアップ”と“つながる”ための情報です
 気になる学会・研究会、セミナーなどに出かけよう！

Information

参加者・演題募集中

第29回 日本疼痛心身医学会

9月11日／神奈川県

参加者募集

日時：9月11日（日）10～17時

会場：横浜情報文化センター 情
文ホール6F（横浜市中区）

テーマ：患者を中心とした痛み治
療とリハビリテーション

プログラム：会長講演「口腔顔面
痛に対する全人的医療について」

別部智司（神奈川県立大学麻酔科
客員教授）／基調講演「痛みにと
う向き合うか」外須美夫（九州大
学大学院麻酔・蘇生学教授）／特
別講演「痛みの理解と物理療法

——米国におけるペインマネー
ジメントの最新の動向」藤原孝之
（郡山健康科学専門学校名誉学
長）／公開市民講座（無料）「線維
筋痛症の起こる人、起こらない人

永田勝太郎（国際主人医療研究所
理事長、WHO教授）

開催委員長今泉うの
〒2338・85800

神奈川県横浜須賀町稲岡82
神奈川県立大学麻酔科学教室内

046・822・8842
compmed29@kdu.ac.jp

哲学

ケアの哲学学会 第1回年次大会

9月17日／東京

参加者募集

日時：9月17日（土）10～17時

会場：白百合女子大学 本館
9012号室（東京都調布市）

テーマ：ケアと哲学のリエゾンに
向かって

プログラム：会長講演「いのちに
臨む東西の哲学から」田畑邦治（白
百合女子大学）／シンポジウム「ケ
アと哲学のリエゾンに向かって」

早川正祐（三重県立看護大学看護
学部）／崎川修（ノートルダム清心
女子大学人間生活学部）／村岡宏
子（東邦大学看護学部）／研究・
実践報告 丹木博一（上智大学短
期大学部）／菊池麻由美（東京慈恵
会医科大学医学部看護学科）

参加費：2000円

高齢者ケア

日本転倒予防学会
第3回学術集会

10月1～2日／名古屋

日時：10月1日（土）・2日（日）

会場：ウイंकあいち（名古屋市中
村区）

テーマ：フレイルと転倒予防
プログラム：特別講演（対談形式）
「氷上のバランスと転倒」原田敦
（国立長寿医療研究センター病院
長・伊藤みどり（フィギュアス
ケート選手）／基調講演「フレイ
ルのこれから」鳥羽研二（国立長
寿医療研究センター）／シンポジ
ウム「フレイルと転倒予防」フレ
イルの転倒予防における意義 荒
井秀典（国立長寿医療研究セン
ター）・身体面からみたフレイル

と転倒リスク 山田実（筑波大学
大学院）・高齢者の認知・精神機
能と転倒リスク 牧田飛雄馬（国
立長寿医療研究センター）・社会
的側面からみたフレイル 藤原佳
典（東京都健康長寿医療センター
研究所）／フレイルに対する栄養
介入 葛谷雅文（名古屋大学大学
院）・地域在住フレイル高齢者に
対する介入は転倒リスクを減らせ
るのか 金憲経（東京都健康長寿
医療センター研究所）／パネ
ルディスカッション「多職種で取
組む転倒予防チームはこう作
る！」地域づくりをめざした転
倒予防活動（長野県東御市）・岡田
真平（身体教育医学研究所）・転
倒による中度・重度外傷のないデ
イサービス（介護保険事業所）の
ケアスタッフ連携の取組み 見野
孝子（LCウエルネス）・介護老
人保健施設における多職種協働の
転倒予防 笠井明美（介護老人保
健施設尾山愛広苑）・国立長寿医
療研究センターの転倒予防チーム
における多職種連携 安藤悦子（国
立長寿医療研究センター）・「東名
古屋病院の転倒予防チーム（チー
ム10104）」の取組みと多職
種で楽しく多面的な介入を 饗
場郁子（東名古屋病院）／パネ
ルディスカッション「転倒予防のた
めのリハビリテーション」病院
における転倒予防：バランス評価
尺度SIDEとその運用につい
て 寺西利生（藤田保健衛生大
学）・回復期リハビリテーション

病院における転倒予防 福江亮（西
広島リハビリテーション病院）・
バランスロボットによる転倒予
防・フレイル高齢者に対するバラ
ンス訓練ロボットの効果 佐藤健
二（国立長寿医療研究センター）・
「地域高齢者に対する二重課題を
用いた転倒予防」山田実
※イブニングセミナー：10月1日
（土）17時半～18時半、終了後情
報交換会。

参加費：会員5000円、非会員
8000円（プログラム・抄録集
別途2000円）、学生2000
円（学生証提示、プログラム・抄
録集別途2000円）

運営事務局
〒101-0063

東京都千代田区神田淡路町2-23
アクセスお茶の水ビル5F
株式会社ドウ・コンベンション

03-55289-7717
03-55289-8117

jsfp2016-office@umin.ac.jp
http://jsfp2016.umin.ac.jp/

リハビリ 第17回日本臨床 リハビリテーション 心理研究会

参加者募集

日時：10月16日（日）9時半～16
時

会場：済生会神奈川県病院西館地
下1階講堂（横浜市神奈川区）

テーマ：在宅支援における多職種

連携の心理的諸問題

プログラム：基調講演「地域包括ケアについて」赤羽重樹（西神奈川ヘルスケアクリニック院長、在宅医ネットよこはま東部世話人代表、医師）／シンポジウム「在宅支援における多職種連携の心理的諸問題」鎌村誠司（済生会神奈川県病院地域医療福祉センター係長、医療ソーシャルワーカー）・池上直宏（りんどろりハビリ訪問看護ステーション・りんどろ地域支援室室長、理学療法士）・横山雄士（横山歯科医院副院長、歯科医師）／事例検討グループワーク
参加費：医師・歯科医師6000円、その他3000円
定員：30名
申込方法：左記のメールにて名前、所属、職種、Eメールアドレスを記載の上、送信
申込締切：10月15日（土）
※当日参加可
✉ rehab.ilipsychology@gmail.com

終末期ケア

日本エンドオブライフケア学会設立総会・記念講演会

10月23日（日）／東京

参加者募集

日時：10月23日（日）10～16時
会場：学士会館（東京都千代田区）
プログラム：講演「エンドオブライフケアの国際的動向とわが国の動向——在宅ケアを中心に」島内

節（人間環境大学副学長・大学院看護学研究科長）、講演「日本人の死生観とエンドオブライフケア」浅見洋（石川県立看護大学教授）、対談「わが国のエンドオブライフケアをどうすすめるか」長江弘子（東京女子医科大学教授）・平原佐斗司（梶原診療所在宅総合ケアセンター長・オレンジほっとクリニック所長）
参加費：3000円
定員：200人

申込方法：ウェブ申込フォーム
(https://iap.jp.org/jseolc/kinen/registration/add_form)より

問 日本エンドオブライフケア学会事務局
〒162-0801
東京都新宿区山吹町358-5
アカデミーセンター
03-5389-6218
✉ jseolc-post@bunken.co.jp